

令和 8 年 6 月 22 日
愛知県スタートアップ推進課
情 報 提 供



STATION Aiにおけるe-Paletteの活用について



STATION Ai

STATION Ai <日本最大のスタートアップ支援拠点>



延床面積 約23,600㎡(地上7階) [日本最大]

“Autonomous City in STATION Ai”
- STATION Aiのなかに進化し続ける街を作る -

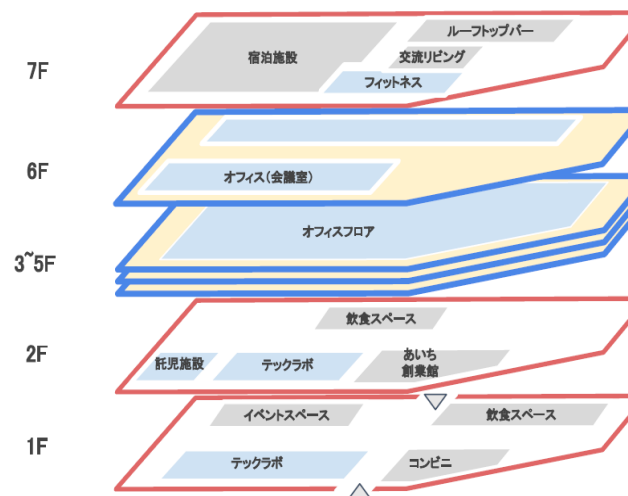
従来のシェアオフィス

- ・各ゾーン領域が明確に分離
- ・フロアによるゾーン分け
- ・最短距離の動線

STATION Ai

- ・各ゾーン領域を曖昧にする
- ・上下階の関わりを作る空間
- ・状況やニーズによって可変する

入居者とともに築き上げる余白を残し、
時代やニーズに合わせて進化する場を創出する



・**会員専用ゾーン**
スタートアップ・企業が利用

・**一般開放ゾーン**
スタートアップ・企業だけでなく、
学生や近隣の住民が利用

多様な交流とイノベーションを育む ひとつながりの空間設計

- 1 スロープで各階が繋がる
シームレスな空間
- 2 多様な働き方を受け入れる
集中とリラックスの共存
- 3 鶴舞公園と一体化する
皆に開かれた施設
- 4 館内状況を可視化する
スマートビルディングの実装

会員タイプ



入居タイプ

様々なニーズに対応可能な座席プランを用意

コワーキング席



フリーアドレスで自由な利用

固定席



新たな出会いと交流を生む
開かれた専有スペース

個室席



拠点として利用可能な
専有スペース

リモート会員



オンラインにてリモートで活動する

e-Paletteの活用(STATION Ai環境強化事業)

- 目的:次世代モビリティ「e-Palette」を活用し、STATION Aiの会員スタートアップ等による柔軟なアイデアや革新的な技術から、新たなアイデアやモビリティサービスの創出を目指す。
- 内容:名古屋駅とSTATION Aiを結ぶ定期運行を実施することにより、STATION Aiの利便性と先進性を対外的に広くPRするほか、STATION Ai会員から「e-Palette」を活用したビジネスプランを募り、実証実験を実施することで、次世代モビリティ領域のイノベーションを加速する。

実施内容

①名古屋駅とSTATION Aiを結ぶ定期運行 (詳細は次のスライド)

【2026年度】

- ・運行日時:毎週月曜日から金曜日までの5日間(2026年4月20日開始)
※祝日、年末年始(12月29日から1月3日)除く
- ・運行形態:手動運転による運行
- ・運行経路:STATION Aiと名古屋駅を結ぶルート

②「e-Palette」を活用した実証実験

【2026年度】

- ・アイデアを募集(6月15日～7月6日)、3件を採択(7月末頃)
- ・伴走支援、実証実験の実施(9月～1月)、成果報告会の開催(2月)

2025年度
実績

実証実験

3件実施

- 第1弾 株式会社博報堂プロダクツ (2025年12月)
- 第2弾 Crystal株式会社 (2026年1月)
- 第3弾 株式会社パワーウェーブ (2026年3月)



e-Palette定期運行の様子



実証実験第1弾

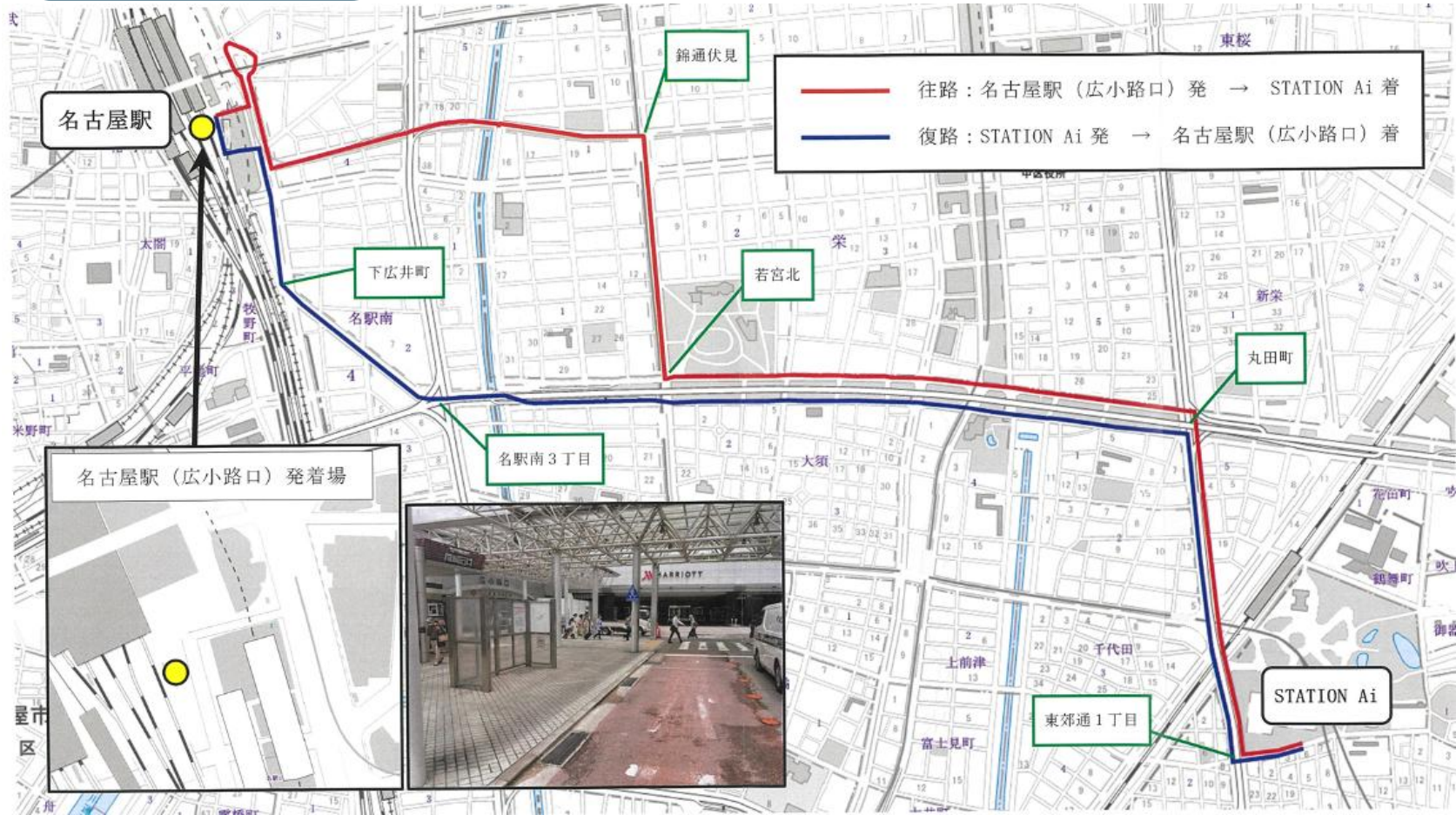
定期運行

- ・愛知県が全国の自治体に先駆けて導入し、定期運行を開始(2025年11月～)。
- ・名古屋駅-STATION Ai間を6往復/日。料金無料、定員7名。



予約サイト

運行ルート・ダイヤ



【名古屋駅→STATION Ai】	
名古屋駅発	STATION Ai着
8時00分	8時30分
9時20分	9時50分
10時50分	11時20分
12時20分	12時50分
15時15分	15時45分
16時30分	17時00分

【STATION Ai→名古屋駅】	
STATION Ai発	名古屋駅着
8時45分	9時15分
10時15分	10時45分
11時45分	12時15分
14時40分	15時10分
15時55分	16時25分
17時10分	17時40分

昨年度実証実験(FY25①)

企業名	株式会社博報堂プロダクツ
日時	①2025/12/15～12/19 ②2025/12/22～12/26
検証概要	立体音声機材を用いて録音した音声（協力企業：クレプシードラ株式会社）により、地域密着型アイドルと一緒にe-Paletteに乗って、名古屋駅から名古屋市内の観光地を巡っているかのようなリアル体感を演出する没入型エンタメコンテンツ体験を提供。
結果概要	一定の支払い意向が確認でき、コンテンツバリエーションと提供方法を工夫することでビジネスとして成立し得る可能性を確認できた。



実証実験の様子(株式会社博報堂プロダクツ)

昨年度実証実験(FY25②)

企業名	Crystal株式会社
日時	①2026/01/26～2026/01/30
検証概要	名古屋駅やSTATION Ai、市内商業施設など6拠点を結ぶルートで、効率的に乗降ニーズのある拠点へ向かうオンデマンド型運行を実施し、運行オペレーションの有効性を検証。
結果概要	従来交通と棲み分けて利便性の理解が得られた。また、免許返納後の親世代に使ってもらいたい子世代ニーズが確認でき、進みにくい免許返納の後押しとなる可能性を得られた。



実証実験の様子(Crystal株式会社)

昨年度実証実験(FY25③)

企業名	株式会社パワーウェーブ
日時	①2026/2/16~17（事前準備） ②2026/3/2
検証概要	走行中のe-Palette車内で、小型電動モビリティ「Comove（コモビ）」（協力企業：豊田鉄工）への電界結合方式を用いた次世代ワイヤレス給電の実証実験。
結果概要	e-Palette車内でのComoveへのワイヤレス電力伝送(WPT)を実現。定期運行ルート30分毎にComoveの走行距離約0.8kmの電力充電が実現した。



実証実験の様子(株式会社パワーウェーブ)